

2022年1月28日

「新・海外研修助成事業」2021年度（2022年）実施延期について

教育委員長 内田 伸恵

医用原子力技術研究振興財団からの助成金を受け入れた新制度「海外研修助成事業」※につきまして、昨年第1回の実施をコロナの影響で見合わせ・延期といたしました。2022年につきましても、海外研修事業の実施が難しい状況が予測されるため、更にもう1年の延期とさせていただきますことといたしますのでご留意ください。

※【海外研修助成事業：JASTRO ホームページより】

「診療放射線技師海外研修助成事業」は2019年度で一旦終了し、対象を放射線治療医師、メディカルスタッフ（診療放射線技師・医学物理士・看護師）に広げ、新制度「海外研修助成事業」へ発展的に移行することが決定しています。

2021年度（2022年）は新型コロナウイルス感染症蔓延の状況等を鑑み、昨年度にひきつづき再延期します。募集をいたしませんのでご留意ください。

※「海外研修助成事業」概要

募集人数：医師2名以内、

メディカルスタッフ（診療放射線技師・医学物理士・看護師）3名以内

助成金額：渡航費用および滞在費等（1名につき30万円を上限）

応募資格：海外の先進施設の研修・見学及び海外で受ける教育研修を予定する者で、以下の条件を満たす者。

（ア）放射線治療に従事する医師、メディカルスタッフ（診療放射線技師・医学物理士・看護師）であること。

（イ）応募年度4月1日時点で45歳以下であること。

（ウ）日本放射線腫瘍学会の正会員・准会員であること。

（エ）応募年度までの年会費を完納していること。

（オ）応募締め切りの翌年3月までに渡航できること。

（カ）予定する研修に対して他の助成金等が確定していないこと。

（キ）応募について所属長の承諾を得ていること。

助成者の義務：（ア）帰国後すみやかに、研修報告書（様式任意）、会計報告書を提出する。

（研修報告書は後日 JASTRO NEWSLETTER および医用原子力技術研究振興財団 発行の広報誌「医用原子力だより」に掲載させていただきます。